

NPO 法人近畿水の塾

平成27年度事業報告書

平成28年6月

継続的な公開研究会『河川塾』の実施

1. はじめに

2000年(平成12年)9月に八幡市で開催した「川に学ぶシンポジウム in 近畿」の終了後、実行委員が川に関する人のネットワークの継続や知識の習得を兼ねて、摂南大学澤井教授を中心にスタートし、2002年(平成14年)年8月よりNPO法人近畿水の塾事業の一つとして継続している。

2. 実施内容

河川を楽しく、幅広く、実験・具体例(フィールドとしてピオトープづくりや河川蛇行実験など)を併せてわかりやすく学ぶこと、様々なセクターからの受講生が時の話題・情報を提供する。

第1回は2000年11月に始まり、2016年6月の総会記念講演で160回を超える。受講生は、学生・行政担当者・コンサルタント・市民など会員及びその紹介を受けたもので、2000、2001年は河川の基礎工学シリーズ、特別フィールドシリーズ(ワーキング)、2002年はマイリバーシリーズ、2003年は河川関連法(自然再生から淀川を例とした河川整備計画)、2004年は淀川の整備計画と水資源、付替え300年を経た大和川など、2005年は琵琶湖・淀川、都市と農、市民参加型公共事業など、2006、2007年はマイジョブ&リバーとして会員の仕事と川への関りなど、2008年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、古老に聞くシリーズ。2009年はマイジョブ&リバー、番外編を中心に10年を経て第100回記念企画、2010年はマイジョブ&リバー、流域委員会シリーズ、2011年からはマイジョブ&リバーなどを中心に展開し、また参加費(資料代)を会員外500円、会員無料とし参加の枠を広げている。

156	H28 1/26	スケッチとまちづくり、武庫川がっこうの取組み 田村博美(宝塚むこスケッチ会、武庫川がっこうなど)
157	2/24	健全な自然が維持できる、懐かしい未来を創造する～ボランティアな活動仲間たちと、里山・里川 保全・景観整備～ 崎谷久義(自然にみちた水辺づくりプロジェクト・太市の郷代表)
158	3/23	ひと咲きまち咲きあまがさき～尼崎市制100周年、これまでとこれからを環境の視点から～ 安田博之(近畿水の塾理事、尼崎市職員)
159	4/27	アユの遡上に河川再生の夢を託して～堺・石津川での活動から～ 船本浩路(市民ボランティアネットワーク石津川に鮎をなど)
160	6/4	(小田公民館)第15期総会記念講演 全国の川の住民ネットワークとともに“いい川”を求めて!山の道、川の道を歩く 山道省三(NPO法人多摩川センターなど)
161	5/25	中間支援組織・エコネット近畿の仕事 辻郁子 (NPO法人エコネット近畿)

回	月/日	内 容
151	H27 6/24	湖・公園・区画整理?場の公共性と歴史性 下村泰史(京都造形芸術大学准教授、会員)
152	8/26	巨椋池ピオトープについて 北村美紗樹(摂南大学、近畿水の塾事務局)
153	9/30	ブラジルECOツアー「環境先進都市クリチバの現在と世界遺産イグアスの大自然」と中村轟さん訪問報告」高畑正(元神戸市職員、農・都共生ネットこうべ・神戸エコアップ研究会代表など)
154	10/28	宮津・竹の学校と手ぼうき 曾和治好(造園家、音楽家、京都造形芸術大学教授、CLAP環境計画研究所所長など)
155	11/24	私の環境仕事 南隆雄(大阪府職員)

3. 成果

近畿における川や水辺に関する知識を得、時の情報を共有でき、また各地での活動を知り、様々な個人・団体との交流が図れた。

4. 今後の課題

- ・事前に講座・フィールドの希望内容を会員より収集
 - ・会員・受講生より得た情報などから、不定期に新たな知見を得られるシリーズ(フィールド・講座)の設置
 - ・二級河川の流域連携
- など、新年度に向けた内容等を検討する必要がある。

5. その他

今後の具体の予定として、

- ・マイリバーを継続して、情報を蓄積し交流を図り、またこれらを紹介しながら川の評価基準により表彰する
 - ・河川踏査、写真・資料収集等
 - ・干潟事例報告、提案
 - ・環境学習の検討報告
 - ・河川で合宿 フィールドワーク
- などを検討中である。

近畿水環境交流会 in 宇治川オープンラボトリー

■日時:平成27年7月25日(土)~7月26日(日)

■場所:伏見港周辺および京都大学防災研究所宇治川オープンラボトリー

■7月25日(1日目) 9:30~受付

10:00~12:00 施設見学(伏見港周辺および京都大学防災研究所宇治川オープンラボトリー、巨椋池ピオトープ)

14:00~17:30 シンポジウム

■澤井健二摂南大学名誉教授あいさつ。

琵琶湖で開始。和歌山から近畿という名称になった。昨2014年は寝屋川本川。今年2015年は巨椋池。来年は瀬田川アクア琵琶で考えている。継続を願っている。

水環境保全、水質、生き物、防災増水対応、市民意識を高める。流域連携を考えたい。15年前は、流域圏交流はなかったが次第に広がってきた。

明日はのんびり水であそびと、Eポートレースを考えたい。水位が下がらなければ催しは控えめにしたい。一番気をつけることは事故を起こさないこと。危ないことは伝えて事故を防止したい。

- ・活かそう水辺:活用:使う。しかし命を大切に。
- ・つなごう流れ:上下流、魚・鳥・人、対岸、立場の違いを超えて次の世代に伝えたい。

■中川一さんあいさつ

宇治川は増水して危ないです。くれぐれも気をつけてください。

■特別講演 「近年の土砂災害と警戒避難」

藤田正治 京都大学防災研究所流域災害研究センター

①最近の豪雨による土砂災害

2011年9月2日~4日、1400mm降った。量も単位時間雨量も多い。奈良県などで深層崩壊が起きた。2012年は九州日田などで災害。2013年10月台風26号は、大島で、1時間あたり120ミリで3時間継続。森林が災いとなった。

2014年広島大規模土砂災害100mmが2時間継続。避難しにくい。深夜に被害。

②深層崩壊

深層崩壊、表層崩壊。600ミリを超えると深層崩壊が起きていることが多い。特に中央構造線南側が多い。

対策としては、地下街へ行かない。地下鉄に乗らない。アンダーパスに行かない。ハザードマップを確認。鉛直避難を考える。家屋内はがけの反対側に移る、など。災害情報は当たらないかもしれない。しかし信じて避難しよう。

問:深層崩壊と植生との関係は?

答:森林は斜面安定に寄与するが、深層崩壊には関係しない。雨が染み込むプロセスは、表層崩壊

には寄与するだろうが、深層崩壊には関係しないだろう。対策は構造物では不可能。ソフト対策にならざるを得ない。

問:「多量」「強い」「長い」の違いは?

答:多量はたくさん。強いは100mm見当。長い例えば2時間だとあぶないということ。比較的長いとあぶない。最近は強く長いことが多い。

■澤井健二

「京都大学防災研究所宇治川オープンラボトリー構内巨椋池流域模型ピオトープ」

昨年2014年あいさつにうかがった際に、巨椋池ピオトープをつくることになった。巨椋池は約8平方キロあった。200分の1の流域模型を考えた。ただし鉛直1.1mの深さはそのままにした。

第1期は豊臣秀吉。以降堤防をつくり、水質も悪化し、マラリアがはやったりした。昭和39年ヶ瀬ダム。昭和42年向島ニュータウン。

レンコンは地下茎だけで育てる。種は交ざるので捨てる。オグラコウホネは長岡京条例以前のもので移動を了解してもらった。ハスの花4日しか咲かない。4日目に落ちる。

農機具は、巨椋池土地改良区の展示室を閉めるとのことで譲り受けた。

生物環境を還元するという活動が広がればよい。巨椋池は遊水池であり、干拓のため土地は低いまま残っている。堤防が切れるとか、ポンプの排水ができなければ浸かる。住まないほうが良い。歴史文化を共有するミュージアムになればよい。小学校などにも資料は残っており、環境学習。防災学習になればよい。これからメンテナンスが必要であり、チームができれば良いと考えている。(休憩)

■活動紹介

12グループの発表がありました。各地の住民活動の充実を感じました。京都市立伏見工業高校の生徒さんも参加され、活動を紹介していただきました。

■7月26日(日)2日目

午前9時から宇治川の河川敷の清掃活動をして、開会式にのぞみ、午前中は水面利用です。水質調査、魚調査、Eポート体験、クイズなどがありました。第2京阪道路の橋の下が本部となっていたため、涼しく風もさわやかで助かりました。

昼からはEポートレースです。宇治川での実施は危険なため、防災研究所の水路を使い、タイムトライアル方式となり、10チームが参加しました。近畿水の塾チームは、各団体に適宜加わりました。摂南大学OBチームが優勝しました。

平成28年度は7月23日(土)24日(日)琵琶湖ウォーターステーションで予定されています。

(報告 久保田 洋一)



1 日目。中書島駅南口集合。澤井先生の解説を聞いて町を歩きます。



三十石船が運行されていました。この横の遊歩道を歩きました。



伏見港と宇治川を結んだ三桧閘門(みすこうもん：1929年)です。現在は使われていません。



巨椋池ビオトープです。まだ発展途上です。周辺施設の位置がわかるようになっています。



シンポジウム会場風景です。藤田正治先生から最近の豪雨災害が紹介されました。



2 日目の最初の 30 分は清掃活動をしします。かなりのごみがありました。



宇治川で E ボート体験他のイベントです。流れが速く、橋の下の入り江を活用しました。



E ボートレースは、防災研究所の水路利用です。1 台ごとのタイムレースになりました。

ホームページの作成・更新等についての事業報告

1. はじめに

当会では平成 14 年 9 月 15 日にホームページを立ち上げ、会の概要、入会方法、事業内容、活動報告などを公開している。

また、会員はメーリングリストに登録し、会員間の情報交換を常に行っている。

2. 実施内容

ホームページの内容は以下のとおり

- (1) 当会の概要等
 - ・ 入会方法
 - ・ 設立の経緯、総会資料
 - ・ 会員紹介のコーナー など
- (2) イベント情報
 - ・ 当会主催のイベント案内
 - ・ 河川塾案内
 - ・ 他団体のイベント案内
- (3) 活動報告
 - ・ 当会の活動報告
 - ・ 新聞記事掲載
- (4) リンク集
 - ・ 水環境等の市民団体等のリンク集

3. 成果

随時更新を行い、常に最新情報を発信した。過去の報告も掲載しているため、会員の資料室としての利用もされている。総会資料についても掲載している。

4. 今後の課題

- ・ イベントの案内だけでなく、川に関わる活動をしている団体や個人の紹介をするなど内容充実を目指す。
- ・ 他のホームページにリンクしてもらい広く閲覧してもらうように工夫する。

<http://www.geocities.jp/npokinkimizunoiuku/>

ブックマーク、名刺に印刷をお願いします。

(報告者：安田 博之)

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第1回	平成12年 11月30日(木)	第1限—定例講義—(澤井)「河川学原論」その1 『河川とは、「望ましい」川の姿』 第2限—川の情報交換—(白木)『澤井先生のマイリバー 日野川』 大阪府での『水辺の学校』、『流域懇談会』開催状況(野添) 『よこはま かわを考える会ニュース』の紹介(福廣)
第2回	12月21日(木)	第1限—新シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」番外編 『木曽川 自然共生研究センターと河川環境楽園』 第2限—定例講義—(澤井)「河川学原論」その2 『流域と氾濫域、川の定量的な捉え方』 第3限—川のなんでも情報交換会—話題提供 「川に学ぶ」シンポジウムin近畿(足立) 『川のなんでも市』のふりかえり 河川審議会計画部会中間答申(勝山) 「流域での対応を含む効果的な治水のあり方」 平成12年度大阪府河川協会講演会の開催について(野添)
第3回	平成13年 1月18日(木)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『春木川・津田川と近木川』 第2限—定例講義—(澤井)「河川学原論」その3 『普段の川—現実の川における問題点』 第3限—特別講義—水資源開発公団(福田)『河川災害について』 第4限—川のなんでも情報交換会— 『流域での対応を含む効果的な治水の在り方について』(西下) 『石川で遊ぶ バードウォッチング in 石川』(勝山)
第4回	2月15日(木)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」 『澤井先生のマイリバー—日野川の池作りに参加してきました』 第2限—徹底討論—『マイリバーとの関わり … 日野川の池作りを例として』 第3限—川のなんでも情報交換会— 『第4回淀川討論会』のお知らせ(2/24)(澤井) 『進めよう、いのちあふれる都市づくり～神戸地域生物多様性保全シンポジウム～』のお知らせ(2/24)(安田) 『春木川・轟川市民のつどい』のお知らせ(3/4)(白木江都子) 『川の世界 加古川』加古川を題材にした総合学習の副読本のご提供(田中)
第5回	3月15日(木)	第1限—自習—(澤井先生定例講義休講のため) 「川のH条件」森下郁子 他/著『陸水生態学からの提言』～魚の「すめる」川から魚の「すむ」川へ 第2限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『南河内 石川』
第6回	4月19日(木)	第1限— 情報提供 — (木村) 報告「近畿 川ものがたり」 第2限— 定例講義 — 「河川工学」基礎編(澤井) 河道の中の流れについて 第3限 「川と人とのつきあい方」 第4限 「河川に関するQ&A」 第5限 — 話題提供 — (岡田)「Landscape Kansai」(春号)
第7回	5月15日(火)	第1限— 定例講義 — 「河川工学」基礎編2 ～土砂が動く～ 第2限— Q&Aコーナー及び情報交換 —
第8回	6月19日(火)	第1限— 定例講義 — 『河川工学』基礎編—3 第2限 「川に関するQ&A」「川のお悩み相談室」「情報提供」
第9回	7月17日(火)	第1限「赤目エコリゾート」合宿の報告 第2限澤井塾 小学校3年生に対する授業メモを元に意見交換会 第3限春木川の河川改修 第4限その他
第10回	9月8日(土) 名張 土谷邸	8月21日(火)台風11号のため、中止となり9月8日が第10回となる (1)澤井先生の『Eポート』 【川に学ぶ!】 ①「シンポ1周年!」 ②「シンポふりかえり!」

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第11回	10月16日(火)	第1限 — 情報提供 — 『川に学ぶ体験活動発表交流会について』川に学ぶ」シンポふりかえり等 (参加者の中での自由なフリートークの時間)
第12回	11月20日(火)	第1限—シリーズ—報告「近畿の川～探訪～」『河内—長瀬川』 第2限—定例講義—『河川工学』基礎編—4 (澤井)
第13回	12月18日(火)	座談会+忘年会
第14回	平成14年 1月22日(火)	第1限—シリーズ—「近畿の川～探訪」 『泉州 榎尾川』 第2限—定例講義—『河川工学』(澤井)
第15回	2月19日(火)	フリータイム 『川』のおしゃべりタイム(情報交換) 第1限—定例講義—『河川工学』(澤井) 第2限 「私の好きな川、嫌いな川アンケート」
第16回	3月13日(水)	— いってらっしゃい、土谷さん! — 大々壮行会 主 催：(仮称)『近畿水環境ネットワーク』準備会
第17回	4月17日(水)	※4月から第3水曜日に変更いたしました 新シリーズ 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その1) (西河)
第18回	5月22日(水)	新シリーズ— プレゼンテーション — 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その2) (西河) 第1限—フリーディスカッション— 『土居川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校』(澤井)
第19回	6月19日(水)	新シリーズ— プレゼン— 『マイリバー紹介』 堺市 土居川(その3) (西河) 第1限—フリーディスカッション— 『土居川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校 土居川編』(澤井)
第20回	7月17日(水)	シリーズ— プレゼン— 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その1) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション— 『名張川について』 第2限— 講 評 — 『川の学校 名張川編』(澤井)
第21回	9月18日(水)	シリーズ— プレゼンテーション — 『マイリバー紹介』 三重 名張川(その2) — (川上・福廣) 第1限—フリーディスカッション— 『名張川について』 第2限— 報 告 会 — 「川の日ワークショップ」 グランブリー—寝屋川再生ワークショップ(澤井) 準グランブリー—牛滝川(野添)
第22回	10月16日 (水)	シリーズ— プレゼンテーション — 「NPO法人 近畿水の塾」 — 理事長 福廣さん 副理事長 澤井さん 第1限— 報 告 会 1 — 「大阪 川めぐり」(古川) 第2限— 報 告 会 2 — 『第2回川に学ぶ体験活動発表 交流会in北九州』(川上)
第23回	11月20日(水)	第1限— シリーズ マイリバー紹介 「近木川 汽水ワンド」(白木) 第2限— 報 告 会 — 『第2回川に学ぶ体験活動発表交流会in北九州』(福廣)
第24回	12月18日(水)	—特別シリーズ 流域間交流会 — 「大阪府 石川と近木川」(寺川・白木) 川における市民と行政の協働とは?・ミニワークショップ開催
第25回	平成15年 1月13日(月・ 祝)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 石川」—(勝山) 石川流域講座生との意見交換会
第26回	2月16日(日)	— 河川塾フィールドワーク — 「大阪府 近木川」—(白木)
第27回	3月12日(水)	— マイリバーふりかえり — 九州川の日ワークショップ松浦川の報告(福廣)
第28回	4月16日(水)	— 河川関連法についての自主学習 — 「自然再生法ってどんななん?」 — レポート — 「淀川 平成ワンドと木工沈床工」

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第29回	5月21日(水)	一 河川関連法についての学習会 一 第1限一 講義一「自然再生推進法の解説」 講師：大阪府環境農林水産部 池口主査 第2限 全体討論会 「自然再生推進法とは？」
第30回	6月18日(水)	一「水辺空間と人の関わり」一 京都造形芸術大学 学生チームの木津川精華町での調査発表会（下村）
第31回	7月16日(水)	一「近木川 自然再生事業」一 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方（白木）
第32回	8月20日(水)	一「近木川 自然再生事業」一 大阪府貝塚市近木川での自然再生事業に向けての課題・取組み方（澤井）
第33回	9月17日(水)	第1限、「近木川」 第2限、「私の水辺」大発表会2003～水辺や水辺活動の評価手法、評価基準を考える～
第34回	10月15日(水)	第1限一第4回全国源流シンポジウムin高津川大会一 報告（福広） 第2限一マイリバー紹介一 尼崎市「庄下川」一 （安田）
第35回	11月22日(土)	リバーウォッチング庄下川 よみがえれ庄下川～川・人・街の風景～（午後1時～5時）
第36回	12月17日(水)	一北桂川の流域見聞について一（下村）
第37回	平成16年 1月21日(水)	流域委員会シリーズ一淀川水系流域委員会「意見書」を読む一 ～淀川河川整備計画基礎原案から（1）～（澤井）
第38回	2月18日(水)	流域委員会シリーズ一淀川水系流域委員会「意見書」を読む一 ～淀川河川整備計画基礎原案から（2）～（澤井）
第39回	3月17日(水)	一 河川塾フィールドワーク 一 摂南大学実験視察 ～近木川汽水ワンド実験～
第40回	4月21日(水)	流域委員会シリーズ一淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（1）～（川上）
第41回	5月19日(水)	マイリバー 寝屋川再生ワークショップからの報告（上田、澤井、久保田）
第42回	6月16日(水)	流域委員会シリーズ一淀川水系河川整備計画策定について ～流域委員会の活動について（2）～（川上）
第43回	7月21日(水)	シリーズ一大和川を語る ～都市河川としての大和川の過去・現在・未来～（角野）
第44回	8月18日(水)	レポート ①大和川・淀川流域連携水環境交流会2004 ②新潟・福井水害
第45回	9月15日(水)	歴史と文化の中の川づくりを考える ～近畿水の塾への期待、役割～（角野）
第46回	11月17日(水)	水資源と環境 ～淀川水系の水資源の量と質～（大阪府立大学荻野教授） ※10/20の河川塾は台風23号の接近で中止になりました。（被害を受けられた皆さまには心よりお見舞い申し上げます。）
第47回	12月15日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～三島ランドワークにおける政策自主研究報告（速見）
第48回	平成17年 1月19日(水)	シリーズ NPO活動と市民協働の実態 ～NPO法人里山倶楽部の紹介～（寺川）
第49回	2月17日(木)	シリーズ 堺7-3区共生の森の活動紹介（速水）
第50回	3月16日(水)	シリーズ 浜寺水路でのコンブ育成実験（前田）
第51回	4月27日(水)	シリーズ おおさかレインボウプロジェクト ～雨みずからはじめる豊かなまち～（足立）
第52回	6月22日(水)	シリーズ 都市と農の共生する地域 （まち）づくり都共生ネットこうべ(非営利組織) 本位田 有恒氏
第53回	8月31日(水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告（澤井）
第54回	9月28日(水)	シリーズ 寝屋川再生ワークショップからの報告（久保田、澤井）

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第55回	10月26日 (水)	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告（その2）（澤井） 於：琵琶湖・淀川水質保全機構（BYQ）4階会議室
第56回	11月26日 (土)	一 河川塾フィールドワーク 一 ～寝屋川駅前せせらぎ広場と点野ワークショップ見学～（上田、澤井）
第57回	12月27日 (火)	レポート 都市のウォータースケープ計画に関する国際ワークショップ ～水によみがえる懐かしい未来都市 堺～（久保田）
第58回	平成18年 1月25日（水）	マイジョブ&マイリバー 水の家からウォーターサロンへ BUD代表 上岡康宣氏 於：ウォーターサロン
第59回	2月22日（水）	シリーズ 琵琶湖・淀川水系での水環境保全 ～BYQの取組みについて～（河野） 於：琵琶湖・淀川水質保全機構（BYQ）4階会議室
第60回	3月22日（水）	近畿水の塾や河川塾の一年をふりかえるワークショップ ファシリテーター：久保田洋一
第61回	4月25日（火）	マイジョブ&マイリバー 水と人と自然 竹尾敬三
第62回	6月28日（水）	流域委員会シリーズ 淀川水系流域委員会からの報告 ～河川整備計画基礎案に係る事業進捗状況の点検～ 澤井健二
第63回	7月27日（木）	シリーズ 芥川・ひとと魚にやさしい川づくりネットワーク」の取組み TKK自然観察会代表 田口圭介氏、 中山香代子
第64回	8月22日（火）	マイジョブ&マイリバー 日本とドイツの水の使い方の差、ヴァーチャル・ウォーター、 地球温暖化について 疋島巖
第65回	9月26日（火）	レポート 水郷・水都全国会議大阪大会から得たもの（ここだけの話） 久保田一、久保田洋一
第66回	10月24日 (火)	マイジョブ&マイリバー 道頓堀川を中心として変わりはじめたミナミ 有限会社エイライン 横山 葵氏
第67回	11月29日 (水)	マイジョブ&マイリバー 仕事の広がり、人つながりから 白木江都子
第68回	12月26日 (火)	シリーズ 公共交通機関としてのLRTの可能性について 石塚昌志
第69回	平成19年 1月23日（火）	マイジョブ&マイリバー 環境調査の実状 米花正三
第70回	2月28日（水）	拡大版河川塾 LRT試験線(トランスロール)試乗、研修センター見学など 案内 石塚昌志
第71回	3月20日（火）	マイジョブ&マイリバー 真言宗醍醐派総本山「醍醐寺」全山改修30年計画 磯貝猛
第72回	4月26日（木）	マイジョブ&マイリバー 高瀬川のほとり 京都樽屋「樽徳」会長 宮本 博司
第73回	6月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 自然と文化の森協会の活動紹介と猪名川自然林の植生調査から 白樫 誠治
第74回	8月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 武庫川流域委員会での私の思い 松本 誠（武庫川流域委員会委員長）
第75回	9月25日（木）	マイジョブ&マイリバー NPO・行革と公益法人改革の流れから 末村 祐子（大阪経済大学客員教授）
第76回	10月23日（木）	マイジョブ&マイリバー 私の環境年表～行政経験を中心として～ 南 隆雄
第77回	11月27日（木）	マイジョブ&マイリバー 天若湖アートプロジェクト これまでとこれから 下村 泰史&さとうひささ（アートプランまぜまぜ）
第78回	12月25日（木）	マイジョブ&マイリバー マイリバーとマイチャリンコ 西村 浩一（毎日新聞編集委員）
第79回	平成20年 2月23日（土）	マイジョブ&マイリバー 指定管理者制度の功罪、今後のあるべき姿など 樋熊 浩明（西武造園株式会社） 於 アピオ大阪4階松の間
第80回	3月25日（火）	マイジョブ&マイリバー 寝屋川市における環境用水の可能性 山本 智志
第81回	4月23日（水）	マイジョブ&マイリバー 自然環境回復は、人間性の回復だ！！ 前田 誠一郎 於 大阪駅前第2ビルキャンパスポート大阪

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第82回	6月24日（火）	マイジョブ&マイリバー 川づくりの最前線 小俣 篤
第83回	7月22日（火）	流域委員会シリーズ 川への思いと企画シンポジウム「全国川シンポ」への期するもの、 広報 今本博健（京大名誉教授・元淀川水系流域委員会委員長）
第84回	9月6日（土）	古老に聞くシリーズ 第1回「おじいちゃんの仕事、おばあちゃんの暮らし」ヒアリング 名張市下比奈知鈴木幹子さん宅にて 鈴木幹子さん、紀さん、雄治さん
第85回	9月30日（火）	マイジョブ&マイリバー 上下流の住民交流の必要性について 久保田 洋一、寺川 裕子
第86回	10月21日（火）	流域委員会シリーズ 猪名川自然林の保存運動、流域委員会での経験特に一流域住民が流域 委員会に加わることの意味、藻川の堤防を考える会の活動など 細川 ゆう子氏（元淀川流域委員会）
第87回	12月22日（月）	マイジョブ&マイリバー 百姓見習い～ある都市農家長男による稲作記録の報告～ 安田 博之
第88回	平成21年 1月27日（火）	マイジョブ&マイリバー 水と共に暮らす事の意味 福廣 勝介
第89回	2月24日（火）	マイジョブ&マイリバー 環境モデル都市・堺 船本 浩路
第90回	3月24日（火）	マイジョブ&マイリバー 数値解析による上野遊水地の洪水調節効果に関する研究、 ボクの遊んだ川と田んぼ 村田 遼介
第91回	4月11日（土）	フィールド版河川塾 クールシティSakaiの関連計画の多い、堺市北西部のまちを見学 案内 西河 嗣郎
第92回	6月26日（金）	マイジョブ&マイリバー ピコ水力発電の現状 竹尾 敬三
第93回	7月21日（火）	マイジョブ&マイリバー 地域環境デザインとしての桂川流域ネットワーク 下村 泰史
第94回	8月20日（木）	マイジョブ&マイリバー 新たな公による地域づくり 石塚 昌志
第95回	9月29日（木）	マイジョブ&マイリバー 神戸つれづれエコアップ 田中 充
第96回	10月28日（水）	マイジョブ&マイリバー 低炭素社会に向け東吉野村と行う地域連携について 船本 浩路 (堺市環境都市推進室)
第97回	11月24日（火）	マイジョブ&マイリバー 米国のダム撤去と日本初の赤谷ダム撤去、そして石津川 太田 勝之（リバーポリシーネットワーク代表）
第98回	12月19日（土）	拡大版河川塾 於 尼崎市立小田公民館 宇根豊さんと映画「たんぼ」をみて農と自然を語る会 宇根 豊（農と自然の研究所代 表理事）
第99回	平成22年 1月26日（火）	マイジョブ&マイリバー 滋賀県版治水政策 瀧 健太郎（滋賀県流域治水政 策室）
第101回	2月25日（木）	マイジョブ&マイリバー 古代大阪の治水事業 藤井 薫
第100回	3月27日（土）	拡大版河川塾 於 尼崎市立小田公民館 河川塾100回記念 女性技術者の視点で語る「環境・河川」 瀧 健太郎（滋賀県流域治水政策室） 磯ちず子（横浜市）、田中秀子（国土交通省）
第102回	4月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 植物と水環境、揖保川水系、趣味の話など 名部勇世（尼崎市）
第103回	6月23日（水）	流域委員会シリーズ 武庫川づくりと市民の関わり～武庫川流域委員会活動を通じて～ 田村博美（武庫川づくりと流域連携を進める会代表）
第104回	7月27日（火）	シリーズ 神戸市職員による住民活動例～住民参加から行政参加 高畑正
第105回	8月27日（金）	マイジョブ&マイリバー 瀬戸内海の祝島から改めて原発と最後に残された瀬戸内海の原因 景を考える 川崎良重
第106回	9月28日（火）	マイジョブ&マイリバー 尼崎21世紀の森づくりと「すき間緑化」～尼崎鉄工団地 みどり への挑戦～ 村上義徳（NPO法人尼崎21世紀の森理事）
第107回	10月28日（木）	マイジョブ&マイリバー 大阪ふれあいの水辺づくり事業から学ぶこと～生物多様性の個人 的な想いを踏まえて～ 足立崇博

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第108回	11月26日（金）	シリーズ 大和川市民ネットワークの経緯と最近の状況 辰谷直子（大和川市民ネットワーク代表）、新元秀（副代表）、小松清生（事務局長）ほか
第109回	12月22日（水）	マイジョブ&マイリバー 学生生活から、獣医師の職場や仕事内容など 山崎綱士（尼崎市動物愛護センター）
第110回	平成23年 1月26日（水）	レポート 梅小路公園水族館計画の問題点と経緯について 下村泰史
第111回	2月22日（火）	マイジョブ&マイリバー 尼崎南部再生へ向けた取り組み 若狭健作（尼崎南部再生研究室、㈱地域環境計画研究所）
第112回	3月23日（水）	マイジョブ&マイリバー マイリバーを語る。川との付き合い。水との付き合い。福廣勝介
第113回	4月25日（月）	ウズベキスタン報告 南隆雄
第114回	6月29日（水）	国際無償援助 竹尾敬三
第115回	7月26日（火）	猟すること 西村浩一
第116回	8月25日（木）	放射線、フクシマを測定して 久保田洋一
第117回	9月20日（火）	一般廃棄物処理と発電 高野伸一郎（堺市環境局環境事業部クリーンセンター東工場）
第118回	10月25日（火）	大阪府中央卸売市場の役割（これまで～これから） 久保佳洋（大阪府中央卸売市場業務課）
第119回	11月25日（金）	ダムのお操作について 左近重信（水資源機構池田総合管理所）
第120回	12月3日（土）	拡大河川塾 於尼崎市立すこやかプラザ・ホール「柳川掘割物語」を伝松伝さんの三大弟子と観る会！ 山道省三（環境計画山道省三アトリエ代表）、田中秀子（筑後川水問題研究会）、山口徳雄（佐賀市）
第121回	平成24年 1月26日（木）	2011熊野水災一現地での体験と考察 辻井隆昭（地域循環システムデザイン研究所）於ドーンセンター4階中会議室
第122回	2月23日（木）	里山復元 中村伸之（有限会社ランドデザイン、立命館大学ほか非常勤講師、NPO法人京都景観フォーラム理事など）
第123回	3月23日（金）	映画「祝の島」鑑賞
第124回	4月26日（木）	魚を食らう（魚の味を科学する etc） 船本浩路（堺市、市民ボランティアネットワーク石津川に鮎を）
第125回	8月28日（火）	大阪ふれあいの水辺づくり事業、都市部における自然と触れ合える場の創出について 田淵敬一（大阪府河川室、淀川自然観察会（大阪自然環境保全協会））
第126回	9月25日（火）	里山再生住民活動について 小西一郎（ナシオン創造の森育成会会長）
第127回	10月23日（火）	生駒のみどりと私！ ～市民有志による街なかの緑の現況調査、市街地の残したいみどり15選、里山ボランティア講座、『いこま宝の里』の三つの事業～ 磯貝猛（近畿水の塾理事、グリーンボランティアいこま宝の里会長）
第128回	11月27日（火）	水辺の20年を振り返って 大嶋範行（神戸市環境局環境評価共生推進室）
第129回	平成25年 1月22日（火）	琵琶湖の総合的な保全の推進 ～マザーレイク21計画に込めた思い～ 三和伸彦（滋賀県琵琶湖環境部琵琶湖政策課、タウン誌「長浜み～な」ボランティアライ
第130回	3月26日（火）	尼崎市にも島がある「豆島」出会いプロジェクト 出本真次（元カシオ計算機（株）、尼崎市自然と文化の森協会会員、藻川漁業協同組合員）
第131回	6月25日（火）	大和川市民ネットワークのよもやま話 辰谷直子（大和川市民ネットワーク副代表、ならコープ元理事）
第132回	7月18日（木）	里山&石川のネットワーク報告 ～チャリティネット森が好き！、南河内ほわ～っと流域ネットワーク～寺川裕子（会員、NPO法人里山倶楽部理事・事務局、石川自然クラブ事務局、NPO法人共生の森副理事長・事務局）

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第133回	8月27日（火）	淀川愛好会の活動報告など 才野紅葉+田中宗繁（淀川愛好会、当会事務局、摂南大学理工学部都市環境工学科水辺環境創出研究室）
第134回	9月26日（木）	天若湖アートイベント 下村泰史（会員、京都造形芸術大学准教授、天若湖アートプロジェクト、NPO法人アート・プランまぜまぜ、瓜生山オーバートーン・アンサンブル）
第135回	10月29日（火）	神戸市西区での「田んぼの楽校」の取り組み～生きもの保全からムラの活性化へ～ 高畑正（神戸エコアップ研究会、農・都共生ネットこうべ他、神戸市職員）
第136回	11月27日（火）	スライド上映「子育てのまち京都の夏・地蔵盆」 神谷潔（スタジオ北山山荘）
第137回	平成26年 1月22日（水）	田口圭介（芥川倶楽部）
第138回	2月26日（水）	福島北部・宮城南部の放射線測定2013 久保田洋一（理事）
第139回	3月26日（水）	近畿水の塾版最終講義「澤井河川塾」 澤井健二（事務局長、摂南大学）
第140回	4月20日（日）	観濠クルーズSakai 乗船（西河理事）と津波高潮ステーション見学会（大阪府西大阪治水事務所）
第141回	5月31日（土）	（小田公民館）第13期総会記念講演 尼崎市におけるソーシャルビジネスの取り組み 安田理事&立石孝裕（尼崎市役所） ソーシャルビジネスが社会を変える 能島裕介（NPO法人プレーンヒューマニティーマニエール理事長、尼崎市参与）
第142回	7月23日（水）	（菅家設計室） 佐賀市における地域密着した資源循環型下水処理のあゆみ（第15回日本水大賞未来開拓賞受賞プロジェクト） 山口徳雄（元佐賀市上下水道局下水浄化センター所長）
第143回	8月27日（水）	滋賀における地（知）の拠点 北井香（滋賀県立大学特別研究員）
第144回	9月24日（水）	鴨川景色40年「鴨川側景色の変遷」 神谷潔（スタジオ北山山荘）
第145回	10月22日（水）	米国ミシガン州の川事情を中心に、自然や社会について感じたこと 瀧健太郎（関西広域連合 本部事務局・滋賀県）
第146回	11月29日（土）	（小田公民館） （映画）越後奥三面 山に生かされた日々鑑賞 渋澤寿一
第147回	平成27年 1月28日（水）	写真による関西のごみ調査 神谷潔（スタジオ北山山荘）
第148回	2月25日（水）	学生の水辺活動の広がり 石田裕子（摂南大学理工学部都市環境工学科）
第149回	3月25日（水）	統合的流域管理 瀧健太郎（関西広域連合 本部事務局・滋賀県）
第150回	4月22日（水）	（菅家設計室） 楽しみながらの社会活動（建築家編）～東北の手しごと展/建築とこども達（ワークショップ）所千夏（アトリエCK主宰）、（助手）菅家克子（菅家建築設計室）
第151回	6月24日（水）	湖・公園・区画整理?場の公共性と歴史性 下村泰史（京都造形芸術大学准教・会員）
第152回	8月26日（水）	巨椋池ビオトープについて 北村美紗樹（摂南大学、近畿水の塾事務局）
第153回	9月30日（水）	ブラジルECOツアー「環境先進都市クリチバの現在と世界遺産イグアスの大自然」と中村轟さん訪問報告」 高畑正（元神戸市職員、（公財）こうべ市民福祉振興協会、農・都共生ネットこうべ・神戸エコアップ研究会代表など）
第154回	10月28日（水）	宮津・竹の学校と手ぼうき 曾和治好（造園家、音楽家、京都造形芸術大学教授、CLAP環境計画研究所所長など）
第155回	11月24日（水）	私の環境仕事 南隆雄（大阪府職員）
第156回	平成28年 1月26日（火）	スケッチとまちづくり、武庫川がっこうの取り組み 田村博美（宝塚むこスケッチ会、武庫川がっこうなど）

河川塾一覽

場所：河川情報センター6F会議室（第49回まで） 環境情報センター（第49回から）

2016/6/4現在

回	日時	講師 & テーマ
第157回	2月24日（水）	健全な自然が維持できる、懐かしい未来を創造する～ボランティアな活動仲間たちと、里山・里川保全・景観整備～ 崎谷久義（自然にみちた水辺づくりプロジェクト・太市の郷代表）
第158回	3月23日（水）	ひと咲きまち咲きあまがさき～尼崎市制100周年、これまでとこれからを環境の視点から～ 安田博之（近畿水の塾理事、尼崎市職員）
第159回	4月27日（水）	アユの遡上に河川再生の夢を託して～堺・石津川での活動から～ 船本浩路（市民ボランティアネットワーク石津川に鮎を、環境カウンセラー、森林インストラクター）
第160回	6月4日（土）	（小田公民館）第15期（平成28年度）総会記念講演 全国の川の住民ネットワークとともに“いい川”を求めて！ 山の道、川の道を歩く 山道省三（NPO法人多摩川センター・NPO法人全国水環境交流会代表理事など）
第161回	5月25日（水）	中間支援組織・エコネット近畿の仕事 辻郁子（NPO法人エコネット近畿）